

少年少女合唱のための

横山裕美子先生の 公開レッスン 及びワークショップ

高畠町少年少女合唱団委嘱作品

音楽劇「泣いた赤おに」

浜田 広介/原作 横山裕美子/作詞・作曲

上記の曲は、今年度、高畠町少年少女合唱団20周年記念コンサートのために作曲していただいたものです。この曲を今後幅広く、そして多くの子ども達に歌ってもらえるようにするため、今回この曲を題材にした合唱講習を企画しました。

作曲者の先生から直接指導していただく貴重な機会ですので、ぜひご参加いただき、今後の合唱活動に生かしていただければ幸いです。

尚、まだ市販等されていない曲です。この講習会で、参加された方に楽譜をお渡ししますが、演奏等については慎重な対応をお願いします。

日時: 2019年1月6日(日) 午後1時～4時00分

場所: 高畠町文化ホール まほら TEL0238(52)4489

受講料: 3,000円 (「泣いた赤おに」の楽譜代込)

(当日受付も致しますが、楽譜等準備の都合上できる限り

12月21日まで事務局にお申し込みください)

【主催】: 高畠町少年少女合唱団「エーテルワイス」

問い合わせ 事務局 固定 0238-33-9126、携帯 090-7337-1621 (金子)

置賜文化フォーラム 地域文化振興支援事業

高畠町少年少女合唱団委嘱作品

音楽劇「泣いた赤おに」

原作：浜田広介 作詞・作曲：横山裕美子 台本：金子祥子

合唱団「エーテルワイス」結団 20 年を記念して作られた 音楽劇「泣いた赤おに」

広介童話の中にある素朴で優しい思いと 美しくやわらかなメロディーが 響き合います

あらすじ 人間と仲良くなりたいと思っているやさしい赤おにがいました。立ふだを立て、おいしいお茶とお菓子を準備して、村人を赤おにの家に招こうとしました。けれども、赤おにをこわがって、遊びに来る村人はひとりもいませんでした。赤おにの悩みを聞いた青おには、ある作戦を提案しました。青おにが村人をおそうフリをして、通りかかった赤おにが青おにを退治するという作戦。青おにが迷う赤おにを言い聞かせて、作戦を実行しました。青おにを退治した赤おには村人から信頼され、赤おにの家は遊びに来る村人でいっぱいになりました。ところが、青おには、人間と仲良くなった赤おにを思い、手紙を残して旅に出たのです。『赤鬼くん、人間たちと仲良くして、楽しく暮らしてください。・・・ぼくはどこまでも君の友達です』赤おには手紙を何度も何度も読んで泣きました。

作曲者：横山裕美子 プロフィール



東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。松本民之助氏、川井学氏に師事。渡米しジュリアード音楽院のスタンレー・ウォルフ氏に師事。合唱・音楽劇を中心に作曲活動をしている。音楽会や合唱コンクールにおいて重要なレパートリーのひとつとして欠かせない作品も多い。音楽劇「手ぶくろを買いに」「赤いろうそく」合唱曲集「みずぐとの旅」、合唱曲「シーラカンスをとりにいこう」「マホウツカイの日々」等。第 77 回(平成 22 年度)NHK 全国学校音楽コンクール小学校の部課題曲「いのちのいっちょうめ」。東京芸術大学大学院、東邦音楽大学・同短期大学非常勤講師。

当日の日程及び講習内容 **12:30** ~ 受付開始 **13:00** ~ 開会行事

13:15~14:15 合唱団「エーテルワイス」をモデルバンドとした合唱講習 曲「泣いた赤おに」

14:30~15:20 指導者のための合唱指導の講話・ワークショップ

15:25~15:55 質疑、及び参加者による情報交換会 …各地域、各団体での活動や悩み等

16:00 全日程終了